

ご使用に際して、この説明書を必ずお読み下さい。
また必要ときに読めるよう大切に保存して下さい。

第2類医薬品

559

芍薬甘草湯エキス散〔勝昌〕



使用上の注意

**漢方薬は原則として随証の方法と云って体質や病状などを参考に使用します。
しかし、正しく判断することは漢方に慣れていないと非常に難しいものです。
そこで医師、薬剤師又は登録販売者とよく相談して薬を正しく使用して下さい。

⊗ してはいけないこと

** (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用がおこりやすくなる。)

1. 次の人は服用しないで下さい。
次の診断を受けた人。
心臓病
2. 症状があるときのみでの服用にとどめ、連用しないで下さい。



相談すること

**1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 次の症状のある人。
むくみ
- (5) 次の診断を受けた人。
高血圧、腎臓病

**2. 服用後、まれに下記のような重篤な症状が起こることがあります。その場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師の診療を受けて下さい。

| 症状の名称 | 症 状 |
|---------------------|--|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 偽アルドステロン症、 ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |
| うっ血性心不全、 心室頻拍 | 全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

**3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【効能・効果】 次のような症状に有効です。

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：

こむらがり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

【用法・用量】

下記の量を空腹時に水又はぬるま湯と一緒に服用して下さい。

| 1回量 | 1日服用回数 |
|------------------|--------|
| 0.4g(添付のスプーンで1杯) | 3回 |

**【成分・分量】

芍薬甘草湯エキス散〔勝昌〕は漢方処方に従って生薬を配合し抽出して得た水製エキスに賦形剤を加えて散剤としたものです。

本品1.2g中

日局シャクヤク・・・3.0g

日局カンゾウ・・・3.0g

上記の混合生薬より抽出した芍薬甘草湯水製エキス(「漢方処方応用の実際」) 0.8gを含有しています。

添加物(賦形剤)としてトウモロコシデンプンを含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わる)

【お問い合わせ先】

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めの薬局・販売店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

製造販売元 株式会社 東洋薬行 お客様相談係
受付時間:午前9:00～午後5:00(土、日、祝日を除く)
〒113-0033 東京都文京区本郷6-19-7
電話(03)3813-2263 **FAX(03)-3813-0202

株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷6-19-7